

令和5～7年度
名鉄広見線
活性化計画



令和5年3月
名鉄広見線活性化協議会

目次

1. 名鉄広見線(新可児駅～御嵩駅)の現状	25
1) 名鉄広見線(新可児駅～御嵩駅)の概要等	
2) 名鉄広見線(新可児駅～御嵩駅)の利用者推移等	
2. 名鉄広見線活性化計画(令和元年度～令和4年度)活動の振り返り	27
1) 活性化計画期間	
2) 目指す姿	
3) 令和元年度から令和4年度までの役割分担と推進体制	
4) 事業計画施策一覧	
5) 目標値とその達成状況	
3. 名鉄広見線(新可児駅～御嵩駅)を取り巻く状況	32
1) 人口の推移	
2) 地域公共交通網形成計画の策定と推進	
3) 来訪者の状況	
4. 令和5年度以降の活性化計画	34
1) 目指す姿	
2) 活性化計画の期間	
3) 活性化計画の目標	
4) 目標を達成するための推進体制	
5. 実施計画.....	36
1) 令和5-7年度事業計画一覧	
2) 個別事業計画	

1. 名鉄広見線(新可児駅～御嵩駅)の現状

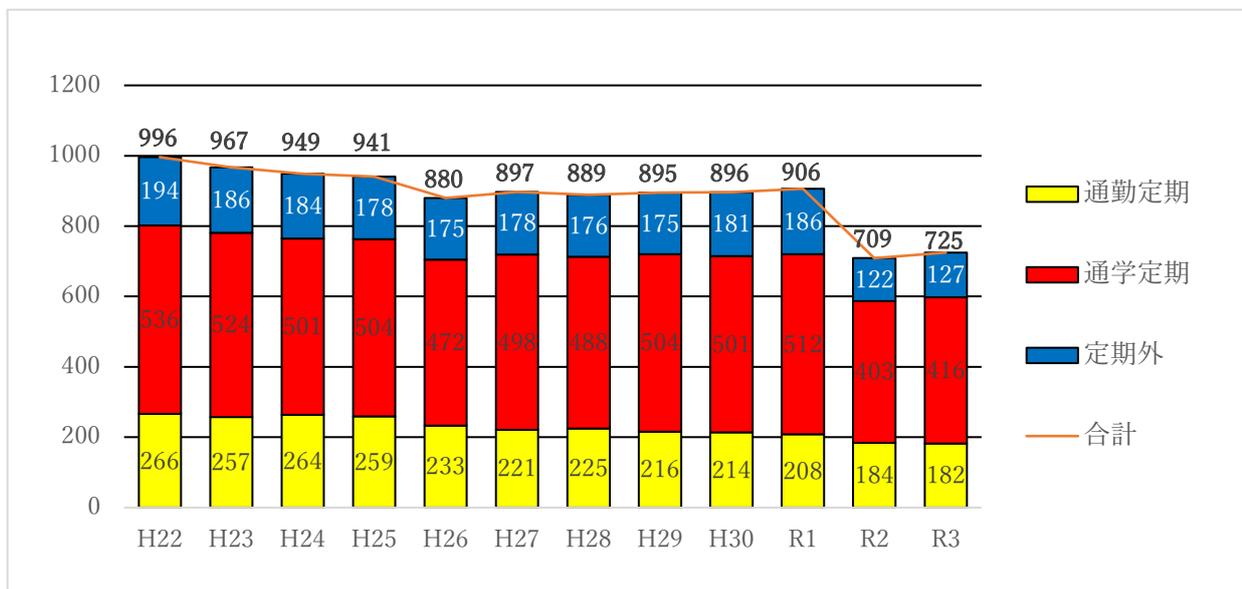
出典:名古屋鉄道株式会社

1) 名鉄広見線(新可児駅～御嵩駅)の概要等

(R5.3月18日時点)

新可児駅 ～ 御嵩駅		
営業キロ	7.4km	
駅数	5駅	
基本ダイヤ	2本/時	
運行本数	日(平日)	69本(御嵩方面:35本、新可児方面:34本)
	ピーク時(7～8時台)	御嵩方面:4本 新可児方面:4本
	日(休日)	69本(御嵩方面:35本、新可児方面:34本)
駅間所要時間(運賃)		御嵩駅 ⇄ 新可児駅 11分(300円)

2) 名鉄広見線(新可児駅～御嵩駅)の利用者推移等



← 第Ⅰ期 → | ← 第Ⅱ期 → | ← 第Ⅲ期 → | ← 第Ⅳ期 →

▶年間利用者数は平成26年度に880千人となって以降、下げ止まりで推移していましたが、令和2年1月から国内での新型コロナウイルス感染症が拡大し、令和2年度は709千人まで利用者が減少しました。現在は徐々に利用者が戻りつつありますが、新型コロナウイルス感染症流行前の8割程度に留まっており、依然厳しい状況が続いています。

【参考資料】

名鉄広見線(新可児駅～御嵩駅)の輸送密度の推移 *輸送密度:1日1kmあたりの平均輸送量

輸送密度	平成20年度	2,234 人/日
	平成23年度	2,065 人/日 (対 H20 年比 ▲ 7.6%)
	平成26年度	1,891 人/日 (対 H23 年比 ▲ 8.4%)
	平成29年度	1,904 人/日 (対 H26 年比 0.7%)
	令和3年度	1,575 人/日 (対 H29 年比 ▲ 17.3%)

名鉄広見線(新可児駅～御嵩駅)の経営状況 *営業係数:100円収入を得るのにかった費用

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
経常損益 (旅客運賃収入)	▲201,152 千円 (80,806 千円)	▲196,773 千円 (74,119 千円)	▲182,924 千円 (74,165 千円)	▲186,840 千円 (73,092 千円)	▲186,700 千円 (73,007 千円)
営業係数	324	341	325	334	334

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
経常損益 (旅客運賃収入)	▲193,988 千円 (71,582 千円)	▲217,430 千円 (68,072 千円)	▲220,557 千円 (68,620 千円)	▲238,659 千円 (68,638 千円)	▲197,902 千円 (68,597 千円)
営業係数	350	393	396	420	365

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
経常損益 (旅客運賃収入)	▲237,398 千円 (69,803 千円)	▲251,437 千円 (70,603 千円)	▲226,789 千円 (52,291 千円)	▲184,200 千円 (55,216 千円)
営業係数	411	427	489	403

- ▶平成 26 年度以降、旅客運賃収入も 68,000 千円前後での下げ止まりがみられ、営業係数も 390 円前後で推移していました。しかし、新型コロナウイルス感染症による利用者減少により旅客運賃収入が大幅に減少し、営業係数も増加しています。

2. 名鉄広見線活性化計画(令和元年度～令和4年度)活動の振り返り

1) 活性化計画期間

令和元年度から令和4年度

※令和3年12月15日締結の覚書により、令和元年度から令和3年度までの「名鉄広見線(新可児駅～御嵩駅間)の運営に関する協定書」が1年間延長されたことに伴い、活性化計画も同様に1年間延長としました。

2) 目指す姿

いつまでも“おでかけ”ができ、住み続けられ、地域で活発な交流が生まれるための社会インフラとして存在し続けること

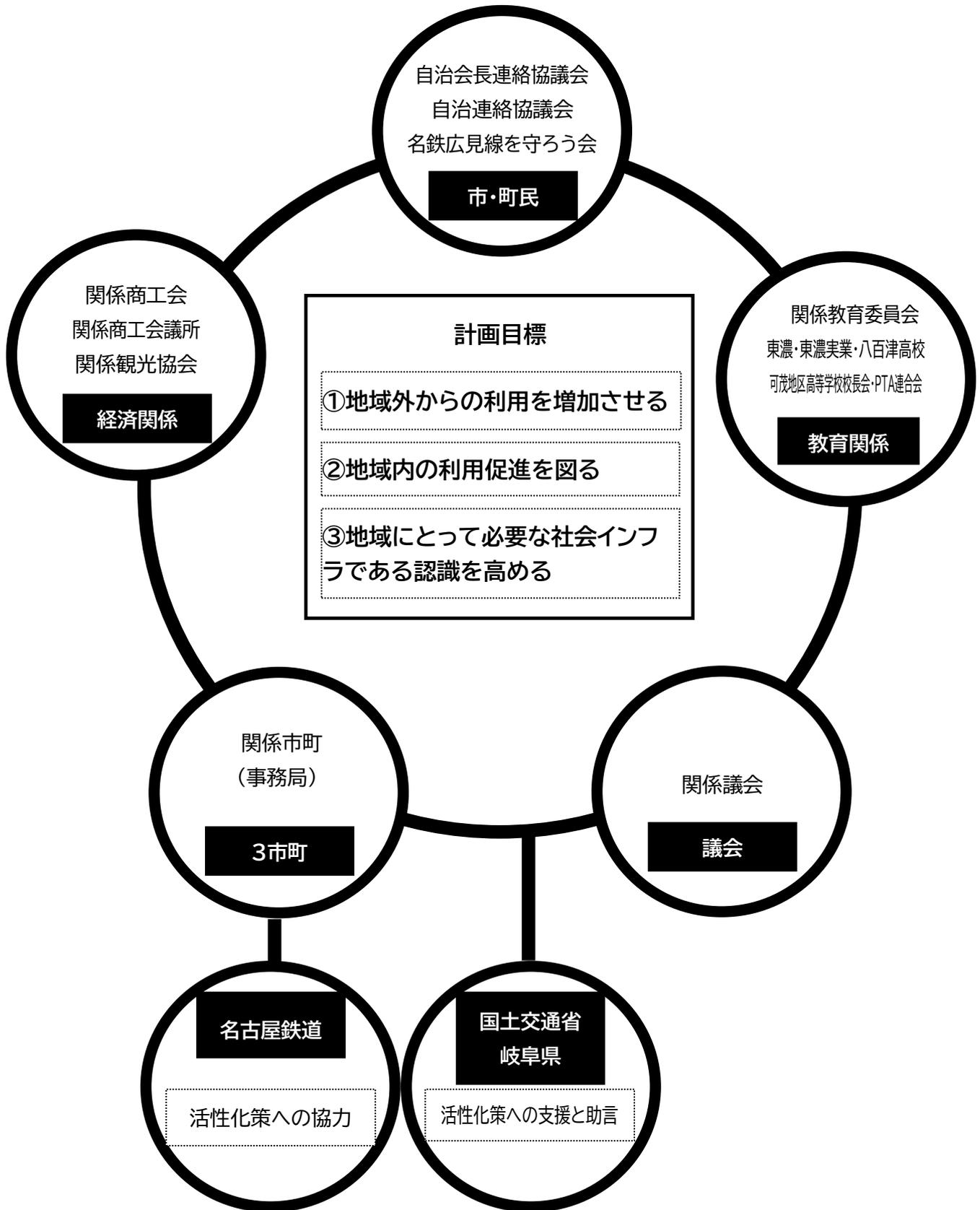
計画目標を「①地域外からの利用者を増加させる」「②地域内の利用促進を図る」「③地域にとって必要な社会インフラである認識を高める」として20以上の事業を掲げて活性化計画を推進してきました。

①については、令和元年度に県を挙げての大河ドラマ館関連事業への参画や、広見線(新可児駅～御嵩口駅)100周年記念事業などの新たなイベントなどに取り組み、定期外利用の増加に一定の効果が見られました。しかし、コロナ禍においては観光誘客やイベント等での利用促進が展開できず、目標達成は困難でした。次期計画においては、引き続き新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら利用促進策を展開する必要があります。

②及び③については、平成28年度から微増傾向にあった利用者数が新型コロナウイルス感染症の影響により通勤、通学、定期外利用が軒並み激減しました。働き方改革によるテレワークの定着やオンライン授業の実施、オンラインショッピングの普及に加え、新型コロナウイルス感染症を懸念して通勤・通学において自家用車への転換が加速したことなど、生活様式の変化が地域内の利用促進や地域に必要な社会インフラとしての認識向上の障壁となりました。補助制度の周知啓発や制度改正等を実施し、利用者減少に歯止めをかけられるよう活動をしてきたため、次期計画においても補助制度の周知強化や制度の見直しなどを検討し、コロナ禍前の水準へ戻るような取組を展開する必要があります。

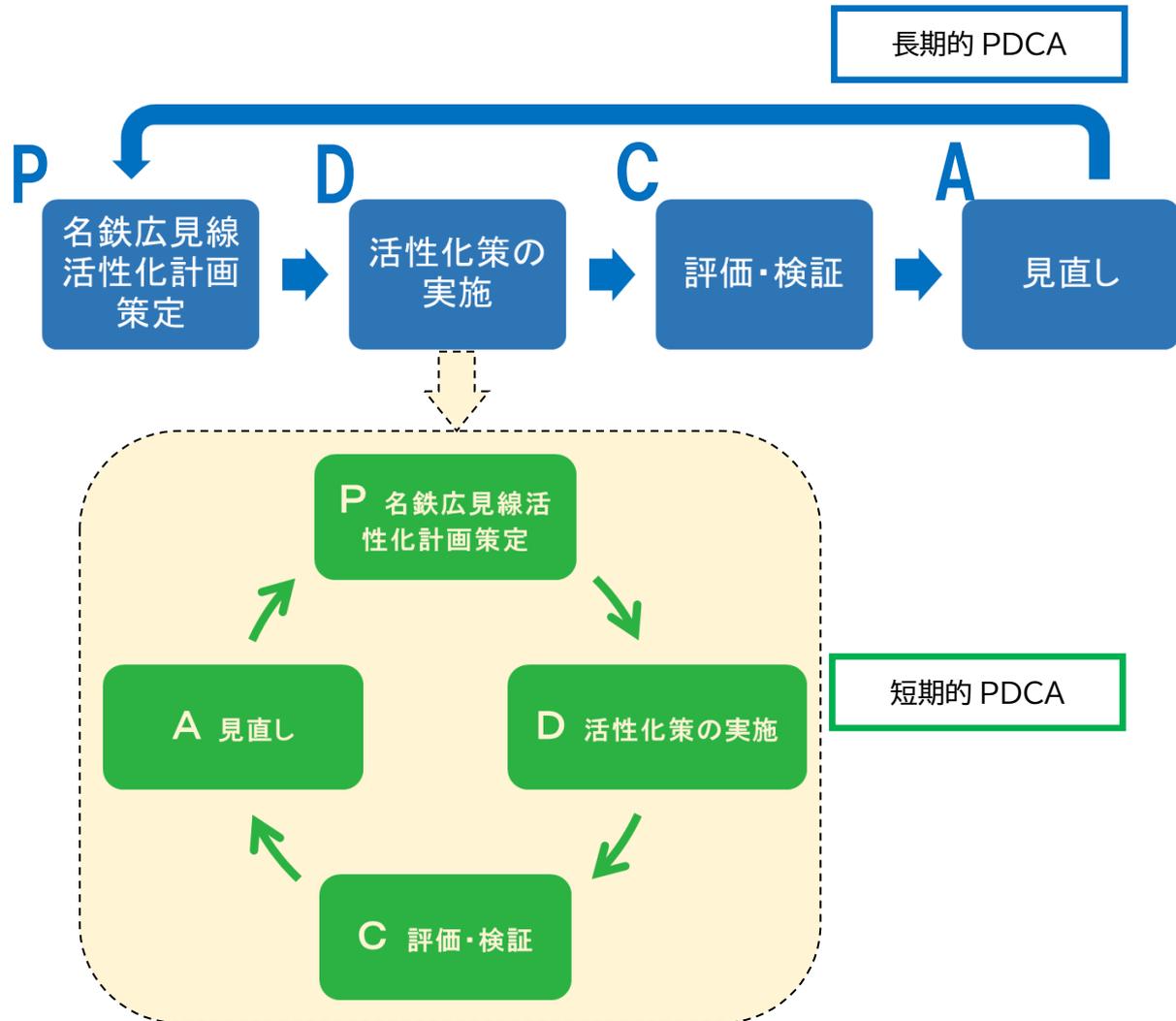
3) 令和元年度から令和4年度までの役割分担と推進体制

名鉄広見線活性化協議会に参画する各関係者が、一体となり取り組みました。



PDCAサイクル

「計画-実行-検証-改善」を行いながら、施策を実施し、計画を必要に応じて見直します。計画期間の3年間のPDCAと、年度毎に活性化策を修正するPDCAを行いました。



4) 事業計画一覧

各種事業は年度毎にPDCAを行うことにより見直しを図り、事業計画一覧は毎年度作成しました。

No	事業名	※ 施策 主要 分類	実施主体						事業年度			
			3 市 町	議 会	教 育	商 工	観 光	住 民	R 1 (H 3 1)	R 2	R 3	R 4
1	名鉄広見線活性化地域連携観光PR事業	①	○	○	-	○	○	-	○	○	○	○
2	イベント等魅力アップ事業	①	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	地域資源ブラッシュアップ・情報発信事業	①	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
4	インバウンド対応事業	①	-	-	○	○	○	-	○	○	○	○
5	地域観光資源等連携観光事業	①	○	-	-	○	○	-	○	○	○	○
6	戦国武将活用事業	①	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
7	電車利用来訪者特典事業	①	○	-	-	○	○	○	○	○	○	○
8	駅舎等活用事業	①	○	-	-	○	○	-	○	○	○	○
9	地域公共交通情報連携事業	①	○	-	-	-	-	-	○	○	○	○
10	沿線活性化情報発信事業	①	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	活性化協議会イベント事業	①	○	-	-	-	-	-	○	○	○	○
12	イベント事業補助制度	①	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
13	高校の魅力向上・地域連携事業	①	○	-	○	○	○	-	○	○	○	○
14	利用プラスワン運動	②	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	駐車場・駐輪場整備事業	②	○	-	-	-	-	-	○	○	○	○
16	ノーマイカーデーの実施	②	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	団体利用運賃補助制度	②	○	-	-	-	-	-	○	○	○	○
18	YA0バス等団体利用運賃補助制度	②	○	-	-	-	-	-	○	○	○	○
19	回数券購入補助制度	②	○	-	-	-	-	-	○	○	○	○
20	定期券通勤通学者応援制度	②	○	-	○	-	-	-	○	○	○	○
21	運転免許証自主返納者回数券購入補助制度	②	○	-	-	-	-	-	○	○	○	○
22	地域の魅力発信などを考える会の開催	③	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○
23	楽しい交通環境教育（モビリティ・マネジメント教育）事業	③	○	-	○	-	-	-	○	○	○	○
24	広見線開通100周年記念事業	③	○	-	○	○	○	○	○	○		
25	目標値達成度調査等事業	③	○	-	○			○		○		

※施策主要分類

- ①地域外からの利用を増加させる
- ②地域内の利用促進を図る
- ③地域にとって必要な社会インフラである認識を高める

5) 目標値とその達成状況

①地域外からの利用を増加させる

(目標値)沿線地域の観光施設等の年間利用者数

110万人以上

(実績) 約72万人

※可見ッテ、ぎふワールド・ローズガーデン、大河ドラマ館、みたけの森、鬼岩公園、中山道みたけ館、人道の丘公園の年間利用者数とする。なお、当初 R2年度分を実績値としていたが1年間の協定延長により R3年度利用者数を実績とする。

②地域内の利用促進を図る

(目標値)回数券等のカウント

12,250カウントを達成

(実績) R1 23,251カウント(達成率 189.8%)
R2 12,902カウント(達成率 105.3%)
R3 7,168カウント(達成率 58.5%)
R4 6,404 カウント(達成率 52.3%(注1))

※カウント数…利用乗車券数

注1:R4の達成率はR5.2月末現在

- ▶目標を達成するための施策として、定期券利用者(通勤・通学)を増やすための利用促進策など利用者への補助事業など6の施策を実施し、その施策の目標を 12,250 カウントとして取り組んできました。令和元年度の達成率は 189.8%、令和2年度の達成率は 105.3%となり、大幅に目標を達成することができました。

③地域にとって必要な社会インフラである認識を高める

(目標値)名鉄広見線が存在する価値を重要と思う人の割合

70%

(実績) 72.8%

※R2年度名鉄広見線沿線住民アンケート調査結果を実績とする。

- ▶「2.2)目指す姿」にて記述したように新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数は減少しているものの、令和2年度に実施した沿線住民アンケートの結果では、「広見線の運行継続は必要」と回答した方が約 73%でした。また、「広見線の運行維持のため費用負担について継続してもよい」と回答した方は約 90%であり、名鉄広見線に対する地域住民の意識は高い水準を保っています。

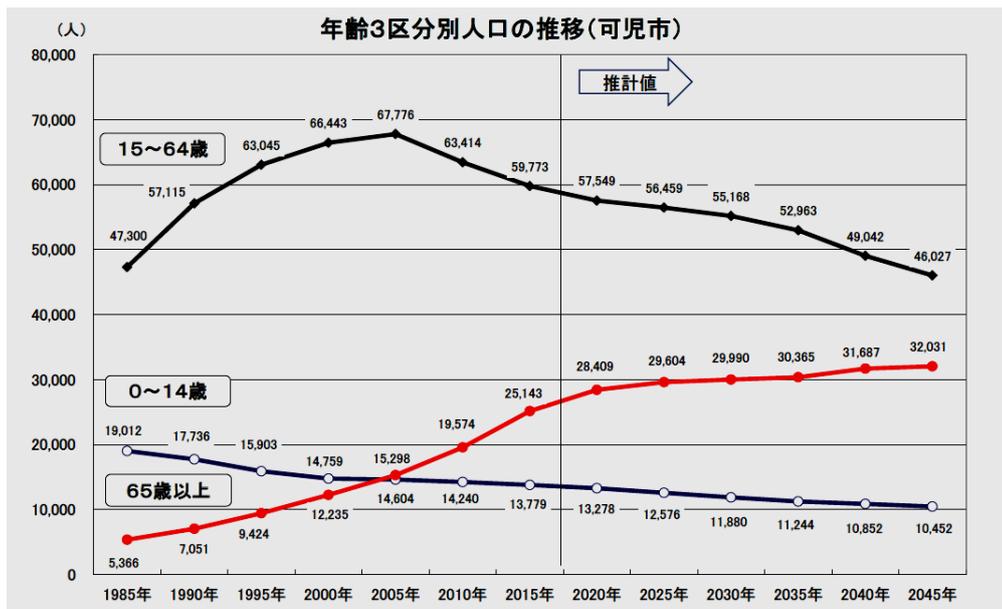
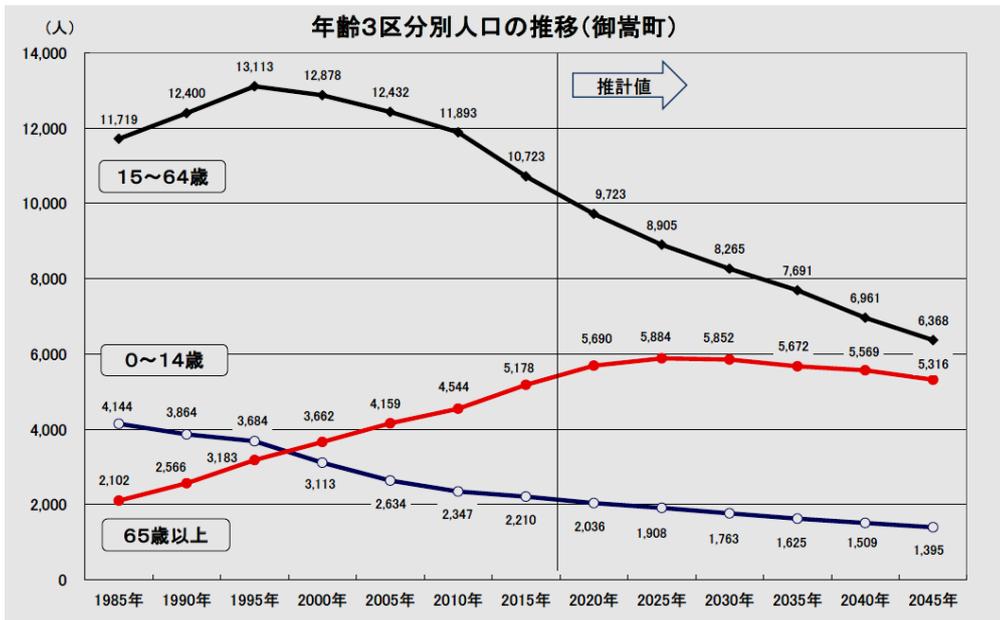
3. 名鉄広見線(新可児駅～御嵩駅)を取り巻く状況

1) 人口の推移

長期的に見て、全体的に人口は減少していく状況にあります。

広見線を定期に利用される見込みがある15～64歳の人口は、2020年の約67,000人(御嵩町9,723人、可児市57,549人)から、2025年は約65,000人(御嵩町8,905人、可児市56,459人)と約2,000人減少するとされ、約10年後の2035年には約61,000人(御嵩町7,691人、可児市52,963人)となり、さらに約4,000人減少すると推計されています。

一方で、65歳以上の人口は、増加していく状況にあり、2020年は約34,000人(御嵩町5,690人、可児市28,409人)から、2025年は約35,500人(御嵩町5,884人、可児市29,604人)と、約1,500人増加すると推計されており、ますます交通弱者の移動手段の確保が求められていきます。



出典：日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)より

2) 地域公共交通網計画の策定と推進

御嵩町、可児市、八百津町では、まちづくりと一体となった持続可能な公共交通(鉄道や路線バス、コミュニティバスなど)ネットワークの形成を推進するための「地域公共交通網形成計画」が策定され、名鉄広見線を地域の公共交通の基軸としています。

また、令和4年7月に岐阜県地域公共交通計画が作成され、岐阜県においても名鉄は、県民等の通勤・通学等を支える重要な交通手段であり、維持してくために利用促進が必要な路線であると位置づけられました。

3) 来訪者の状況

新型コロナウイルス感染症の影響で全体的に一定の落ち込みが見られ、特に屋内施設はその傾向が顕著に現れています。

	H25年	H29年	R1年	R3年
道の駅 可児ツテ	237,473人	274,164人↑	241,654人↓	214,422人↓
ぎふワールド・ローズガーデン	316,572人	368,199人↑	377,784人↑	338,783人↓
明智荘の館(旧大河ドラマ館)	—	—	—	36,182人
みたけの森	38,440人	28,091人↓	18,459人↓	21,905人↑
鬼岩公園	19,030人	22,700人↑	22,500人↓	44,937人↑
中山道みたけ館	60,666人	64,288人↑	53,925人↓	28,479人↓
人道の丘公園	28,463人	35,002人↑	21,744人↓	8,280人↓

出典:岐阜県観光入込客統計調査 ほか

4. 令和5年度以降の活性化計画

1) 目指す姿

「皆で名鉄広見線を守り、育てていくことで、地域の再興・発展を目指す」

そのために、関係市町、議会、教育関係者、経済関係者、市・町民が一体となり、地域全体で守る(利用する)・育てる(活用する)という視点で名鉄広見線(新可児駅～御嵩駅)の活性化に取り組み、コロナ禍により落ち込んだ沿線地域の再興とさらなる発展を推し進めます。

2) 活性化計画の期間

活性化計画の期間は、令和5年度(2023年度)から令和7年度(2025年度)の3年間とします。

3) 活性化計画の目標

上記1)の目指す姿の実現に向けて、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた前期計画の目標値を達成すべく、引き続き3つの目標について未達成項目は達成を、達成項目は更なる向上を目指し、取り組みを実施します。

①地域外からの利用を増加させる。

公共交通と地域の資源を利活用し、誘客のための魅力づくり、イベント開催、PRなどを行い、利用者を増加させ、地域の活性化を図ります。

⇒ 目標値:沿線地域の観光施設等の年間利用者数 110万人以上

※可児ッテ、ぎふワールド・ローズガーデン、みたけの森、鬼岩公園、中山道みたけ館、人道の丘公園の年間利用者数。

②地域内の利用促進を図る。

継続的な利用が見込める地域内利用者に対し、様々な補助を行うことで利用を促進し、各団体においても補助制度の周知等連携して取り組むことで、広見線の活性化を目指します。

⇒ 目標値:回数券等のカウント数 12,250カウント以上

※カウント数……利用乗車券数

③地域にとって必要な社会インフラである認識を高める。

各市町の地域公共交通網形成計画の実施等により、公共交通ネットワークの1つである名鉄広見線の利用機会や関心を増やし、継続的な意識啓発活動によって、必要な社会インフラであるという認識を高めます。

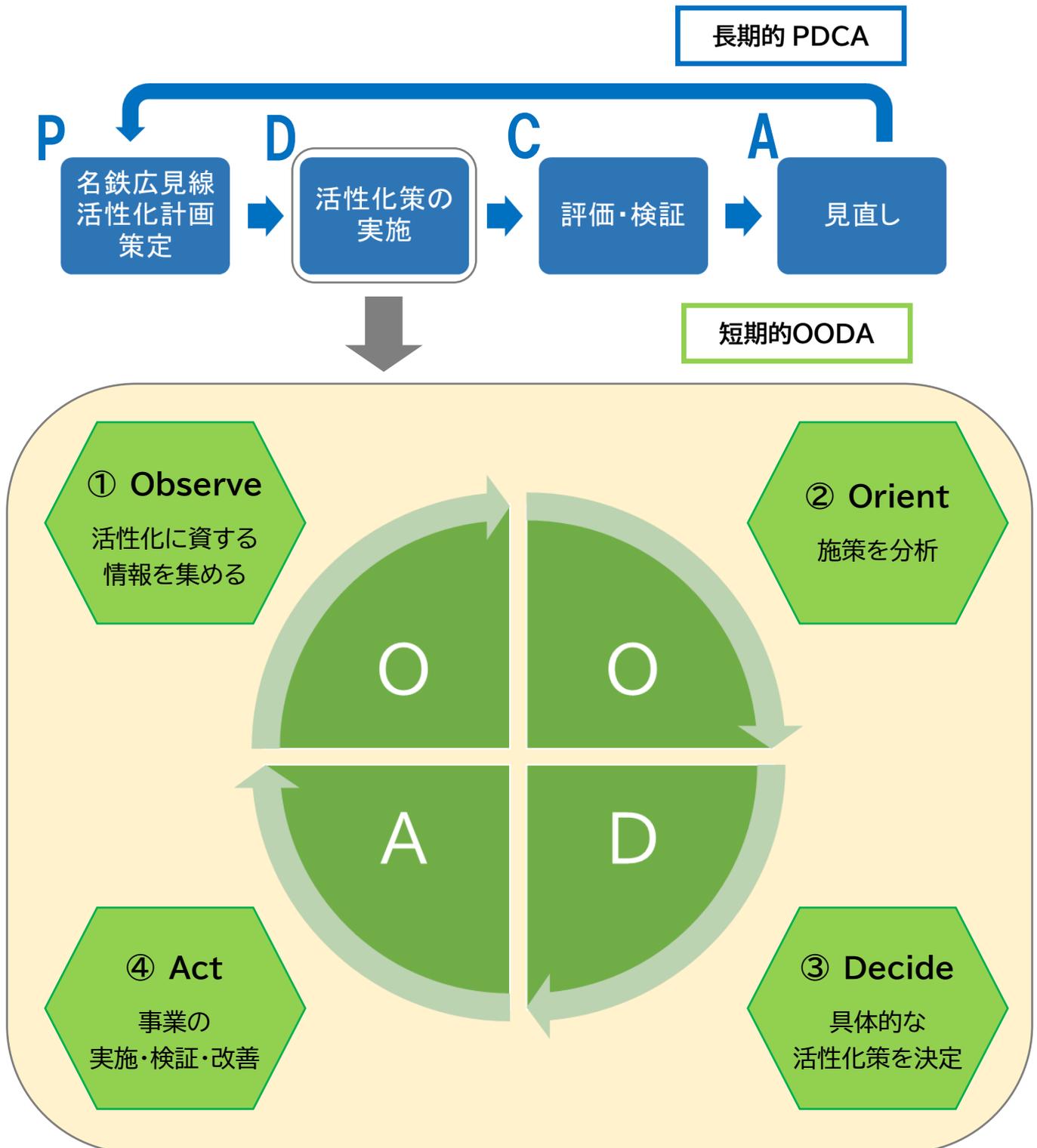
⇒ 目標値:名鉄広見線が存在する価値を重要と思う人の割合 72.8%以上

※名鉄広見線沿線住民アンケート調査

4) 目標を達成するための推進体制

P28 の図のとおり、名鉄広見線活性化協議会に参画する各関係者が一体となり取り組みます。

また、事業の推進にあつては、長期的には「計画-実行-検証-改善」によるPDCAサイクルを行いつつ、短期的には「観察/情報収集-状況判断/方針決定-意思決定-行動/改善」によるOODAループにより、日々変化する社会情勢や外的要因に柔軟に対応しながら事業を展開します。



5. 実施計画

1) 令和5-7年度事業計画一覧

各種事業は年度毎にOODAループ行うことにより見直しを図り、事業計画一覧は毎年度作成します。

No	事業名	※ 施策主要 分類	実施主体						事業年度		
			3 市 町	議 会	教 育	商 工	観 光	住 民	R 5	R 6	R 7
1	名鉄広見線活性化地域連携観光PR事業	①	○	○	-	○	○	-	○	○	○
2	活性化協議会イベント等魅力アップ事業	①	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	地域資源ブラッシュアップ・情報発信事業	①	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	インバウンド対応事業	①	-	-	○	○	○	-	○	○	○
5	戦国武将活用事業	①	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	電車利用来訪者特典事業	①	○	-	-	○	○	○	○	○	○
7	駅舎等活用・整備事業	①	○	-	-	○	○	-	○	○	○
8	イベント事業補助制度	①	○	-	○	○	○	○	○	○	○
9	高校の魅力向上・地域連携事業	①	○	-	○	○	○	-	○	○	○
10	利用プラスワン運動	②	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	ノーマイカー活動の実施	②	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	団体利用運賃補助制度	②	○	-	-	-	-	-	○	○	○
13	YAOバス等団体利用運賃補助制度	②	○	-	-	-	-	-	○	○	○
14	回数券購入補助制度	②	○	-	-	-	-	-	○	○	○
15	定期券通勤通学者応援制度	②	○	-	○	-	-	-	○	○	○
16	運転免許証自主返納者回数券購入補助制度	②	○	-	-	-	-	-	○	○	○
17	地域の魅力発信などを考える会の開催	③	○	-	○	○	○	○	○	○	○
18	楽しい交通環境教育(モビリティ・マネジメント教育)事業	③	○	-	○	-	-	-	○	○	○

①地域外からの利用を増加させる

※ ②地域内の利用促進を図る

③地域にとって必要な社会インフラである認識を高める

備考:事業は提案段階のものも含まれており、今後具体化していく過程で、随時変更していくこととする。

2) 個別事業計画

No	1	施策主要分類	①地域外からの利用を増加させる			
事業名	名鉄広見線活性化地域連携観光PR事業					
実施主体	行政	議会	教育	商工	観光	住民
	○	○		○	○	
実施年度	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	○		○		○	
取り組み内容	<p>・名鉄広見線活性化地域外(主に名古屋都市圏)で、既存の観光キャンペーン等を活用するとともに地域の観光等のチラシ配布、特産品の物販、企画さつぷのPR活動をおこなう。なお、実施主体単独での実施のほか、3市町行政間、3市町議会間、経済関係者同士の連携も視野に入れて活動する。</p> <p>例:春・秋などの観光シーズン前に金山駅コンコースや名古屋駅などで実施、また、昇龍道プロジェクトを意識して中部国際空港での実施。</p> <p>・地域公共交通等を活用した観光資源の周遊ツアー等の実施や観光会社への提案も行う。</p>					

No	2	施策主要分類	①地域外からの利用を増加させる			
事業名	活性化協議会イベント等魅力アップ事業					
実施主体	行政	議会	教育	商工	観光	住民
	○	○	○	○	○	○
実施年度	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	○		○		○	
取り組み内容	<p>・活性協主体のイベント等をさらに進化させ、地域外からの利用者増加につなげる。そのために、ターゲットを絞った事業を展開し、イベント需要を探りつつ事業を分析・計画し、実施する。</p> <p>・沿線市町のイベントにおいて利用促進につながる提案をし、実現する。なお、提案するにあたり、それぞれの団体がどのように関わるのか、関わっていくことができるのかを検討し、各関係機関と相談したうえで、円滑な実施に結びつける。</p> <p>・周辺商店、地域住民、沿線高校と連携したイベント実施のほか、イベント事業補助制度(No11)を活用している団体との共催なども検討する。</p>					

No	3	施策主要分類	①地域外からの利用を増加させる			
事業名	地域資源ブラッシュアップ・情報発信事業					
実施主体	行政	議会	教育	商工	観光	住民
	○	○	○	○	○	○
実施年度	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	○		○		○	
取り組み内容	<p>・3市町の観光資源を磨き上げ、魅力度を向上し、地域外からの来訪を促進する。</p> <p>・観光資源やイベント等のPRなどの情報発信・宣伝強化を図る。</p> <p><観光資源></p> <p>可児市:ぎふワールド・ローズガーデン、明智長山城跡などの戦国史跡、美濃桃山陶の聖地、土田御前、サヨリめしなど</p> <p>御嵩町:鬼岩公園、中山道御嶽宿・伏見宿、願興寺、愚候寺、みたけの森、蟹葉師祭礼、御嵩城址などの史跡、南山公園、みたけのええもんなど</p> <p>八百津町:杉原千畝記念館、五宝滝、旧八百津発電所、八百津だんじり祭、栗きんとんなど</p> <p><発信方法></p> <p>フリーペーパー、観光情報雑誌(るるぶ等)など広域情報誌を活用する。</p> <p>その他、ホームページ、SNS、ポスター、チラシ、ウォーキングマップ、幟旗などを使い情報発信・啓発活動を実施する。既存のものがあれば、マイナーチェンジし内容をブラッシュアップする。</p>					

No	4	施策主要分類	①地域外からの利用を増加させる			
事業名	インバウンド対応事業					
実施主体	行政	議会	教育	商工	観光	住民
			○	○	○	
実施年度	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	○		○		○	
取り組み内容	<p>・海外からの来訪者に対して地域の魅力を伝えるおもてなしができる人材を育成するために講座を開催する。</p> <p>・観光PR用にパンフレット作成時に併せて英語版の作成や、外国人観光客向けの沿線観光アプリ等を作成する。</p> <p>・来訪者が沿線の魅力や観光情報等を調べることができる多言語表記のアプリ開発をするなど、デジタル技術活用による観光誘客を促す。</p>					

No	5	施策主要分類	①地域外からの利用を増加させる			
事業名	戦国武将活用事業					
実施主体	行政	議会	教育	商工	観光	住民
	○	○	○	○	○	○
実施年度	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	○		○		○	
取り組み内容	<p>・NHK大河ドラマ「どうする家康」の放送など、今後も戦国武将が活躍する大河ドラマの放送に備え、沿線地域の戦国武将の魅力を磨き上げる。</p> <p>・地域と連携し、電車を活用したイベント事業に戦国武将を関連付けるなど、多角的な集客を検討する。</p>					

No	6	施策主要分類	①地域外からの利用を増加させる			
事業名	電車利用来訪者特典事業					
実施主体	行政	議会	教育	商工	観光	住民
	○			○	○	○
実施年度	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	○		○		○	
取り組み内容	<p>・広見線利用来訪者に対して、地域限定のプレミア感のある特典を付けるなどして来訪を呼び掛ける。また、イベント等の案内には、名鉄広見線利用によるアクセスを最優先に掲載する。</p> <p>例：イベント実施時には、電車で来ていただいた方に限定ノベルティ等を配布する。</p>					

No	7	施策主要分類	①地域外からの利用を増加させる			
事業名	駅舎等活用・整備事業					
実施主体	行政	議会	教育	商工	観光	住民
	○			○	○	
実施年度	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	○		○		○	
取り組み内容	<p>・御嵩駅観光案内所にて特産品販売を行ったり、新可児駅前の可児市子育て健康プラザmano(マーノ)と連携を図っていくなど、駅舎および駅周辺施設を活用し、賑わいを創出する。</p> <p>・駅での貸出レンタル自転車を利用してもらい、名鉄広見線利用観光客に向けてPRを行い、駅を拠点とした観光に活用していく。</p> <p>・散策きつぷの販売において、子連れの誘客にも注力することから、子ども用の貸出レンタル自転車を配備するなど客層を広げる取組みを考える。</p> <p>・駅舎及び駅周辺の駐輪場・駐車場の整備を検討し、駅自体の魅力向上や利便性の向上につなげる。</p>					

No	8	施策主要分類	①地域外からの利用を増加させる			
事業名	イベント事業補助制度					
実施主体	行政	議会	教育	商工	観光	住民
	○		○	○	○	○
実施年度	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	○		○		○	
取り組み内容	<p>・名鉄広見線の利用につながるものや利用を呼びかけるもの、または、名鉄広見線を題材としたイベントを補助する。</p> <p>・高校生を主体とする場合:補助率10分の10(限度額10万円)</p> <p>・学校教育関係の組織を主体(高校を除く)とする場合:補助率4分の3(限度額9万円)</p> <p>・経済団体、住民団体等を主体とする場合:補助率3分の2(限度額6万円)</p> <p>■目標とする利用者数目安 1,000人/年度</p>					

No	9	施策主要分類	①地域外からの利用を増加させる			
事業名	高校の魅力向上・地域連携事業					
実施主体	行政	議会	教育	商工	観光	住民
	○		○	○	○	
実施年度	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	○		○		○	
取り組み内容	<p>・学校の魅力と地域とのつながりを向上するため、高校の取り組みや魅力、部活動の成果などを積極的に地域へ発信するとともに、地域のイベントに参加したり、ボランティアとして協力する。</p> <p>・駅舎や駅近くの公共施設を活用して高校の活動をPRする。</p> <p>・生徒の電車利用の機会を増やせるような取組を計画する。</p>					

No	10	施策主要分類	②地域内の利用促進を図る			
事業名	利用プラスワン運動					
実施主体	行政	議会	教育	商工	観光	住民
	○	○	○	○	○	○
実施年度	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	○		○		○	
取り組み内容	<p>・前年度より1回でも多く名鉄広見線を利用する運動を展開する。</p> <p>・前年度名鉄広見線を利用した人は、前年度の回数より1回でも多く利用する。</p> <p>・前年度名鉄広見線を利用した回数が0回の人、1回は利用する。</p> <p>・既存の行事、イベント、取り組みに、名鉄広見線の乗車をする内容を入れたり、増やす。</p> <p>例)地域の遠足や学習、おでかけに、乗車体験や経路に名鉄広見線を入れる。</p>					

No	11	施策主要分類	②地域内の利用促進を図る			
事業名	ノーマイカー活動の実施					
実施主体	行政	議会	教育	商工	観光	住民
	○	○	○	○	○	○
実施年度	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	○		○		○	
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・3市町の職員又は教職員は、これまでどおり月に1回のノーマイカーデーの実施及び出張の際に公共交通機関を利用する。 ・議会は、公務で来庁する場合にノーマイカーデー実施に努める。 ・高校生に鉄道利用を促す。また、親の送迎により通学している生徒や雨の日に送迎してもらう人は、月に1回はノーマイカーデー実施に努める。 					

No	12	施策主要分類	②地域内の利用促進を図る			
事業名	団体利用運賃補助制度					
実施主体	行政	議会	教育	商工	観光	住民
	○					
実施年度	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	○		○		○	
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・5名以上を団体とし、広見線を利用された団体に利用運賃の一部を補助する。(一般団体、学生団体等) ・補助対象区間は西可児駅～御嵩駅間を含む区間 ・補助率は補助対象区間運賃の2分の1 <p>■目標とする利用者数目安 4,000名/年度</p>					

No	13	施策主要分類	②地域内の利用促進を図る			
事業名	YAOバス等団体利用運賃補助制度					
実施主体	行政	議会	教育	商工	観光	住民
	○					
実施年度	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	○		○		○	
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・名鉄広見線を利用する5名以上の団体で、YAOバス利用運賃の一部を補助する。(一般団体、学生団体等) ・補助対象区間は明智駅～八百津町FC間 ・補助率は補助対象区間運賃の30% <p>■目標とする利用者数目安 150名/年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記のほか、2次交通(コミバス等)との乗換補助も検討する。 					

No	14	施策主要分類	②地域内の利用促進を図る			
事業名	回数券購入補助制度					
実施主体	行政	議会	教育	商工	観光	住民
	○					
実施年度	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	○		○		○	
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・名鉄広見線を含む回数券を購入した費用の一部を補助する。 ・補助対象区間は新可児駅～御嵩駅間を含む区間 ・対象となる券:通学用割引回数券、身体障害者割引回数券、知的障害者割引回数券、広見線回数きっぷ10(個人購入のみ受付) ・補助率は回数券購入費用の3分の1 <p>■目標とする利用者数目安 7,000名/年</p>					

No	15	施策主要分類	②地域内の利用促進を図る			
事業名	定期券通勤通学者応援制度					
実施主体	行政	議会	教育	商工	観光	住民
	○		○			
実施年度	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	○		○		○	
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・通勤・通学定期の継続を促進するため同定期を購入し通勤・通学している者に商品券を進呈する ・補助対象区間は新可児駅～御嵩駅間を含む区間 ・商品券額面は定期券利用月数による 通勤及び通学:1か月500円分、3か月1000円分、6か月2,000円分 					

No	16	施策主要分類	②地域内の利用促進を図る			
事業名	運転免許証自主返納者回数券購入補助制度					
実施主体	行政	議会	教育	商工	観光	住民
	○					
実施年度	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	○		○		○	
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢等の理由により運転免許証を自主的に返納された人が回数券を購入した場合に購入費用の一部を補助する ・補助対象区間は新可児駅～御嵩駅間を含む区間 ・返納から1年以内の購入について1回申請限り、3組(1組10枚)以内、補助率10/10 <p>■目標とする利用者数目安 100名/年</p>					

No	17	施策主要分類	③地域にとって必要な社会インフラである認識を高める			
事業名	地域の魅力発信などを考える会の開催					
実施主体	行政	議会	教育	商工	観光	住民
	○		○	○	○	○
実施年度	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	○		○		○	
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・3市町の活性化を図るため、利用促進大会等を開催し、地域全体の魅力を向上させる方策や名鉄広見線に関する事など、地域を盛り上げる事について語り合う。 ・電車を利用した遠足などテーマを決めて、沿線の住民や高校生とその保護者または高齢者などの多くの方に参加してもらおうワークショップを行う。 ・地域の課題として「名鉄広見線の活性化」を題材として地域課題解決型キャリア教育を行う。 					

No	18	施策主要分類	③地域にとって必要な社会インフラである認識を高める			
事業名	楽しい交通環境教育(モビリティ・マネジメント教育)事業					
実施主体	行政	議会	教育	商工	観光	住民
	○		○			
実施年度	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	○		○		○	
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の学習にて、自分たちの移動手段を「人や社会、環境にやさしい」という観点から見直し、改善していくために自発的な行動を取れるような人間を育成することを旨とした交通環境教育を実施する。 ・名鉄広見線とバスとの乗り換え乗車体験イベント等を実施する。鉄道の魅力、乗り方、マナーを教育する。 					